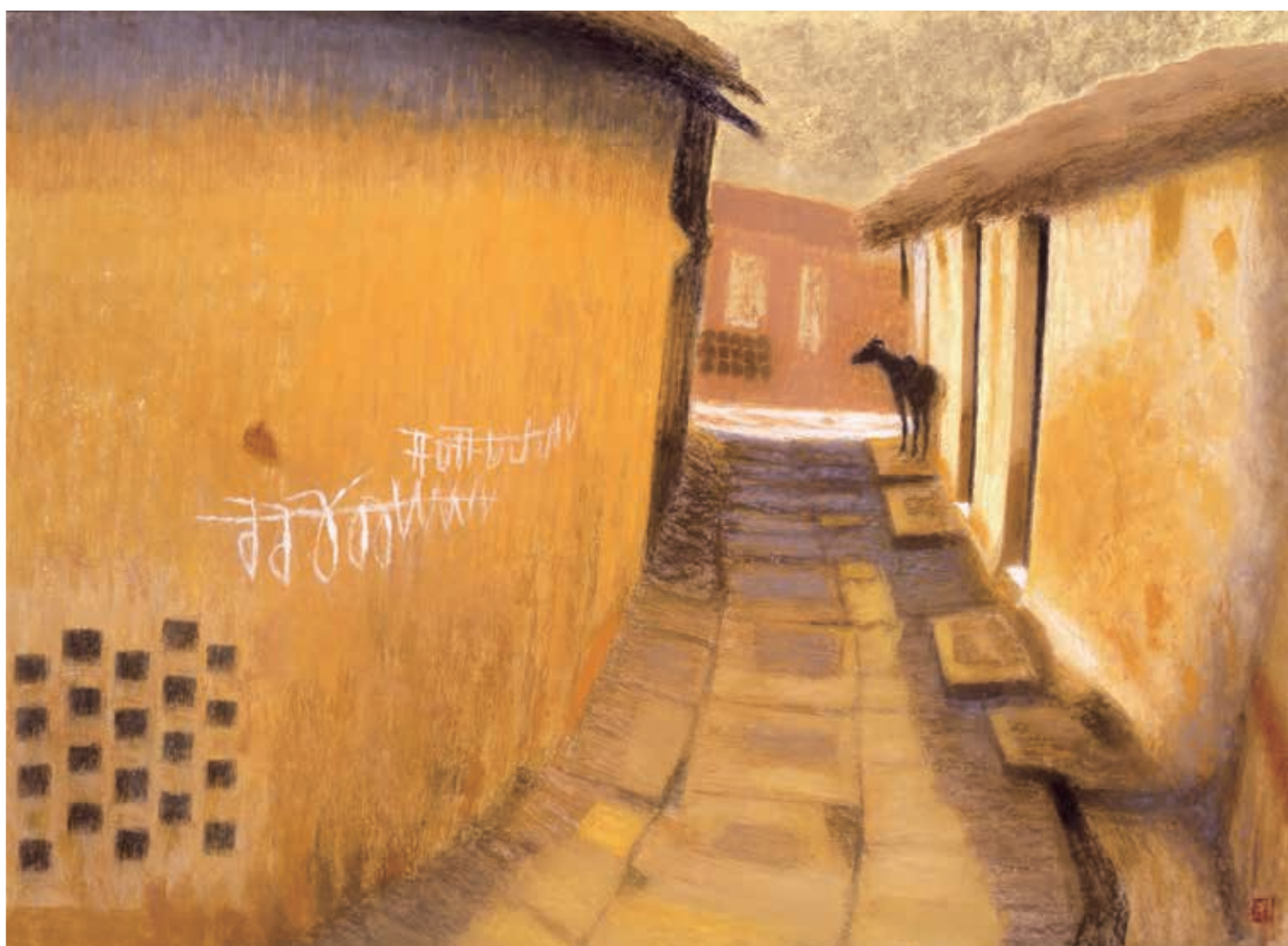


はままつ 市議会だより

第198号

令和5年12月5日

身近な市議会を目指して



もくじ contents

◎9月定例会のあらまし	P2
◎可決した主な議案	P3
◎決算審査特別委員会の状況	P4
◎常任委員会の状況	P6
◎代表質問	P7
◎一般質問	P8

《村落(カジュラホ)》1994年(平成6年) 秋野不矩 作
秋野不矩美術館蔵

市議会のくわしい情報、会議の映像は
ホームページで公開しています

浜松市議会 検索 

スマートフォンはこちらから →



9月定例会

4年度決算に対して7項目の指摘事項 災害復旧費の追加など総額84億円の補正予算を可決

9月定例会は、9月8日から10月24日までの47日間にわたって開催し、4年度決算や5年度一般会計補正予算、条例案、人事案件のほか、意見書などの審議を行いました。

◎議案上程

9月8日の本会議では、5年度一般会計補正予算、4年度企業会計決算など、23件の市長提出議案を上程し、所管の各常任委員会に審査の付託をしました。



本会議での決算審査特別委員長報告

◎補正予算などを可決、決算上程

9月19日の本会議では、各常任委員長から審査の経過と結果が報告された後、1議員から一般会計補正予算など3件に対する反対討論があり、採決した結果、いずれも原案のとおり可決・認定しました。また、4年度一般・特別会計決算13件を追加上程し、決算審査特別委員会に審査の付託をしました。

◎代表・一般質問に13議員

9月28日の本会議では、4会派の代表議員が代表質問を、9月29日及び10月2日の本会議では9人の議員が一般質問を行い、市政の諸課題について市の考えをたどしました。また、5年度一般会計補正予算など2件を追加上程し、市民文教委員会で審査を行い、採決した結果、可決しました。

◎4年度決算を認定、意見書を可決

10月24日の本会議では、決算審査特別委員長から審査の経過と結果及び決算に対する指摘事項（詳細は4ページのとおり）が報告されました。そして、1議員から4年度一般会計決算など4件に対する反対討論があり、採決した結果、決算13件をいずれも認定しました。また、副市長選任の人事案件に同意したほか、議会提出議案として意見書5件を可決しました。

可決した意見書

意見書とは、国や県等が実施すべき事項について、議会の意思を意見としてまとめ、内閣総理大臣や関係行政機関などに対して提出するものです。

- ◆防災・減災、国土強靱化の推進に対する意見書
- ◆教育のICT化に向けた環境整備に係る地方財政措置に対する意見書
- ◆サーキュラー・エコノミー（循環型経済）の推進を求める意見書
- ◆^{※1}ブラッドパッチ療法に対する適正な診療上の評価等を求める意見書
- ◆中学校部活動の地域移行に関する意見書

〔9月〕				〔8月〕		
29日	28日	27日	21日	19日	15日	11日
本会議（一般質問）	市民文教委員会 本会議（代表質問） 地方創生特別委員会	議会運営委員会 大都市制度・行財政改革特別委員会	危機管理・交通政策特別委員会 （全体会） 決算審査特別委員会	本会議（採決・決算上程）	議会運営委員会	各常任委員会
				8日	1日	31日
				本会議（9月定例会開会・議案上程）	議会運営委員会 本会議	各常任委員会 大型公共施設建設特別委員会
						22日
						大都市制度・行財政改革特別委員会
						7日
						危機管理・交通政策特別委員会

議会活動の経過

可決した主な議案

5年度一般会計補正予算

総額84億1000万円

- ◆林道天竜川線の路肩崩壊など6月2日の豪雨被害に伴う災害復旧費の追加 40億円
- ◆南区老間町7号排水路など河川・排水路の浸水対策や道路の冠水対策 14億1485万円
- ◆地域公共交通課題を解決するため自動運転技術を活用した実証実験 6032万円



被災した林道天竜川線(天竜区水窪町奥領家)



バスに設置するタッチ決済端末(イメージ)

- ◆市内6公園で雨水流出抑制施設整備のため実施設計・概略設計を実施 2288万円
- ◆バス・鉄道事業者のキャッシュレス決済導入を支援 1052万円
- ◆子ども医療費受給者証などの更新や15回目以降の妊婦健康診査費用の助成 809万円

- ◆障害福祉サービス事業所などへICTの活用やロボット技術の導入に対する補助金の交付 555万円
- ◆台北ランタンフェスティバルに出展し来場者向け観光PRを実施 400万円
- ◆市公式ヘルスケアアプリ「はままつ健幸クラブ」利用の促進 177万円 など



iPhone版



Android版

こちらのQRコードからアプリがダウンロードできます。

浜松市公式ヘルスケアアプリ「はままつ健幸クラブ」



消防ポンプ自動車の購入

●物品購入契約締結

配備されている車両を更新するため、災害対応特殊化学消防ポンプ自動車1台、災害対応特殊消防ポンプ自動車1台、災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車1台(合計1億9283万円)を購入します。

浜松医療センターの料金改定

●病院事業の設置等に関する条例の一部改正

6年1月の新病院棟開院に伴い、病室機能や入院環境が向上することから、特別室使用料を改定します。また、出産に関する利用料金について、近隣病院の料金状況を踏まえ改定します。

12月
4日 本会議(一般質問)
1日 本会議(一般質問)

30日 本会議(代表質問・一般質問)
29日 議会運営委員会
市民文教委員会

11月
17日 本会議(11月定例会開会・議案上程)
13日 議会運営委員会
7日 各常任委員会

24日 本会議(採決・9月定例会閉会)
23日 議会運営委員会
18日 決算審査特別委員会(全体会)

17日 地方創生特別委員会
13日 議会改革検討会議
6日 決算審査特別委員会(第1分科会)

5日 決算審査特別委員会(第2分科会)
4日 決算審査特別委員会(第1分科会)

10月
3日 決算審査特別委員会(第2分科会)
2日 本会議(一般質問)

決算審査

4年度決算について、議長と議会選出の監査委員を除く43人の議員で構成する決算審査特別委員会を設置して、2つの分科会で集中的に審査を行いました。今後の予算編成や執行に反映されるよう、市に対し議会として指摘した内容は次のとおりです。



決算審査特別委員会全体会での採決

令和5年度 決算審査特別委員会 指摘事項について

●新規職員の計画的な採用について

本市職員は、旧県費負担を除く分野で定員適正化計画に基づき、平成17年から令和2年の15年間で約1300人の職員定数が削減され、正規職員の削減は限界に達している。政令市の類似都市平均と比べて人件費率は安定しているものの、正規職員が少ないことにより、不足するマンパワーを会計年度任用職員及び再任用職員で補って運営している様子がうかがえる。職員定数が現状維持されれば、定年延長は新規採用の圧迫要因になりかねないと指摘する。

よって、年齢構成が偏在しないように計画的な新規職員の採用を実施すること。

●国庫補助事業の有効活用による適切な事業費の確保について

広大な市域を抱える本市は、公共施設等総合管理計画の推進や道路・河川の整備など災害に強い都市づくりを推進していくことが求められている。一方、地方自治体における市債の発行は、主として建設事業費にしか使えないなど地方財政法第5条で厳しく制限されている中で、本市における市債残高の推移に見る通常債の減少と臨時財政対策債の増加及び構成比が逆転していることを指摘する。

よって、今後は国庫補助事業を有効に活用し、適切な事業費を確保すること。

●借地解消・公有財産維持管理事業の一層の推進について

令和4年度までの借地解消における進捗率は75.5%であるが、借地解消事業に係る不用額が昨年度と同様に多額となっていること。また、普通財産における未活用地や維持管理費の削減が進んでいないことを指摘する。

よって、借地解消については、補正予算も含め精度の高い予算を計上し、不用額の削減に努めること。また、アセットマネジメント推進課は各区の区振興課と連携して、普通財産における未活用地の削減に努めること。

●少子化対策のさらなる推進について

止まらない少子化に歯止めをかけるために、民生費・次世代育成費の地域少子化対策強化事業に取り組んでいるが、令和4年の出生数が5000人を割り込んだ。

事業費は前年度と比較すれば増加しているものの、課題の大きさを考慮すると十分ではなく、若者の結婚への後押しとなるようなものではなかった。あわせて、若年層に対する家族形成意識の醸成事業では、家族形成への意識の高まりが図られたとの答弁があったが、実施回数・参加者数ともに減少しており広報が不足していたことを指摘する。

よって、若年層の出会いから結婚へとつなげるための取組が十分に行われていなかったことから、地域少子化対策強化事業の大幅な拡充を図り、少子化対策を推進すること。

●旧東田町地下駐車場における跡地利用の検討について

旧東田町地下駐車場は、令和3年12月30日で閉鎖したが、利用方法が決まらず施設が残っているため、光熱水費、設備保守等の維持管理に要する経費、駐車場埋め戻しの詳細設計に要する経費を支出した。安全性を考慮して埋め戻すという方針とはいえ、昨今の本市の台風や豪雨による水害に鑑みると、貯留施設や防災シェルターなど公共の施設として早い段階で再利用の検討をすべきだったと指摘する。

よって、町なかの一等地でもある大規模な地下施設の有効な活用について、迅速に検討を行うこと。

●ごみ減量施策について

以前行われた「ごみ減量天下取り大作戦」の認知度は25%であった。令和4年度は、家庭ごみ減量についてガイドブックの全戸配付、説明会等、様々な事業が実施されたが、市民の周知・認知度の向上につながっているかの評価指標が設定されていないことを指摘する。

よって、意識向上と行動変容につながるよう市民の理解を深め、ごみ減量の推進に努めること。

●林業振興の推進について

令和4年度は、台風第15号により林道等が被災し、木材搬出ができず生産が伸び悩んだ。豪雨時に森林の荒廃に起因する可能性がある災害が起こっている状況下において、森林整備のためのさらなる人材育成と担い手を確保するため森林環境譲与税が充当されているものの、森林施策に関する総事業費が減額となっていたことを指摘する。

よって、従来の事業費に森林環境譲与税充当分を上乗せした予算措置を行い、森林環境譲与税の目的を達成する事業を推進すること。

※ 分科会での質疑は、次ページのとおりです。

分科会審査の概要

第1分科会

総務委員会、市民文教委員会、建設消防委員会(土木部・上下水道部)

●二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金について

【質疑】

国庫支出金等精算返還金を支出した理由は。

【答弁】

国の補助制度を活用し、佐久間病院・佐久間協働センター・さくまの里の3施設で、木質バイオマスの熱電併給設備等の導入計画を策定したが、施設の熱需要が想定以上に少なく、導入する設備が高額で、採算性が低いと判明したことから、計画していた事業の実現が困難となり、国庫補助金を返還したものである。

●天竜区船明地区墓地整備事業について

【質疑】 船明墓地新規貸付けの実績が鈍化して

いる要因と対策は。

【答弁】

近年、民間の墓所が増加しており、それらと比較して、船明墓地が市中心部からの利便性が低いことが主な要因と考えている。利用促進に向けて、市ホームページへの掲載や市内各斎場でのポスター掲示、パンフレットの配布のほか、市民以外にも貸付けを可能とするなどの対策を実施した。

●放課後児童会運営支援事業について

【質疑】

委託化した69か所の放課後児童会について、保護者や地域の反応は。

【答弁】

保護者からは、施設の衛生環境の観点から手作りの飲食物の提供がなくなった、地

域からは、連携体制の構築ができないなどの意見があった。一方で、放課後児童会の開設時間が午後6時から午後6時半まで30分延長されたことから、友達や先生と遊ぶ時間が増えた、地域の運営上の負担が軽減されたなどの意見もあった。

●不登校児支援推進事業について

【質疑】

校外適応指導教室は、地域の実情や設置箇所のバランスを考慮した設置ができてくるのか。

【答弁】

公共施設の研修室などを利用して、4年度は9か所に設置した。おおむね全地域で開設し、できる限り利用が可能な体制整備に努めている。

第2分科会

厚生保健委員会、環境経済委員会、建設消防委員会(都市整備部・消防)

●里親支援事業について

【質疑】

レスパイトケアの利用が増えているが、課題はないか。

【答弁】

長期的に安定した養育を図るため、里子を受託している里親に対し、一時的な休息を取れるよう支援するレスパイトケアの定期的な利用を推奨している。利用する里親は増えている状況だが、レスパイト支援を行うことができる里親が4組程度と限られており、担い手の確保が課題となっている。

●医療的ケア児等支援事業について

【質疑】

医療的ケア児等コーデイナーの人数と支援内容は。

【答弁】

コーデイナー1人1業務は1人1業務である

●家庭ごみの減量について

【質疑】

説明会を行ったことによる成果は。

【答弁】

協働センターなどで説明会を54回開催し、延べ参加者は1233人で、家庭ごみの有料化の仕組みについて一定の理解を得られたと考えている。また、現状に関する動画などの放映により、ごみ減量の必要性についても理解されたと考えている。

●旧東田町地下駐車場管理事業について

【質疑】

3年に地下駐車場を閉鎖して以降、利用について、どのように検討したのか。

【答弁】

庁内で活用について照会を行ったが、他の部局から利用についての実現可能な提案がなかった。道路区域の地下にある駐車場のため、将来的な安全を最優先に流動化処理士で埋め戻すという方針を決定し、廃止に向けての詳細設計を発注した。



決算審査特別委員会(分科会)

常任委員会での5年度補正予算などの審査の概要です

総務委員会

●浜松ウエルネスプロジェクト事業について

質疑 どのような指標を設定し、事業展開していくのか。

答弁 数値指標として、浜松ウエルネス推進協議会の参画企業数のほか、ヘルスケアアプリはままつ健康クラブの利用登録者について、本年度1万5000人、来年度2万4000人を目標値として設定している。また、健康経営優良法人の認定企業数も目標に掲げて取り組んでいる。

●ザザシティ浜松中央館5階改修事業について

質疑 こども家庭部執務室などを移転・集約するための改修工事を実施することだが、同フロアで業務を行っている発達相談支援センター・ルピオの利用者への影響は。

答弁 動線を確保しながら安全に利用してもらえよう、工事事業者と協議していく。

厚生保健委員会

●病院事業の設置等に関する条例の一部改正について

質疑 出産に関する利用料金の見直しの内容と、分娩費用への影響はどうか。

答弁 料金を分かりやすく区分し、料金体系の見直しを行うもので、これにより正常分娩による出産の場合、概算金額は約7万9000円の引き下げとなり、近隣病院と同等の水準になる。なお、帝王切開による出産については引き上げとなるが、出産育児一時金や高額療養費制度などを活用することで、自己負担はほとんどないものとなる。



浜松医療センターの分娩設備

環境経済委員会

●産業イノベーション推進事業について

質疑 4回目の自動運転技術の実証実験を行うとのことだが、今回の内容は。

答弁 前回同様、自動運転レベルは2で人的な補助が技術的に必要なため、運転手が同乗するものとなるが、今回は前方カメラで信号の色を認識する機能を追加している。

質疑 本格運行はいつ頃か。

答弁 8年度から9年度を目途に、一部区間において、運転手が同乗しない自動運転レベル4相当でのサービスを提供したいと考えている。



実証実験で使用する自動運転車両

建設消防委員会

●公共交通キャッシュレス決済導入助成事業について

質疑 交通事業者において、クレジットカードなどを活用したタッチ決済を導入することだが、路線バスや鉄道への導入予定は。

答弁 浜名湖花博の記念事業に合わせて今年度70台に導入し、残りのバスについても、来年度導入を計画している。また、遠州鉄道鉄道線の各駅についても、来年度導入の計画を確認している。

●公園雨水流出抑制施設整備事業について

質疑 工事スケジュールは。

答弁 豊隆公園、大蒲公園については、表面貯留のための施設を整備するものであり、6年度に工事を実施する。美蘭中央公園ほか3公園については、地下貯留を含め様々な手法を検討し、7年度に工事に着手する予定である。

市民文教委員会

●いじめ相談等業務委託について

質疑 ウェブを活用した相談対応と、いじめ電話相談夜間休日対応業務を一括契約する形に改めるとのことだが、統合によるメリットは。

答弁 電話相談においては、従来から、いじめとは異なる内容でも受け付けており、1つの事業者が総合的に担うことで、より効果的・効率的に対応できると考えている。

●給食調理等業務委託について

質疑 委託事業者の経営状況は把握しているのか。

答弁 委託契約締結後の準備期間に、履行の準備状況の提出を求めるとともに、毎年度1学期と3学期の終わりに事業者との運営会議を開き、直接話をする機会を設けて状況を確認している。今後、経営状況の確認方法については、さらに検討していきたい。

代表質問

9月28日には、会派を代表して4人の議員が質問を行いました



自由民主党浜松
加茂 俊武

ウェルビーイングの視点で基本計画の策定を

質問 ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることであり、市民が幸福を実感するために、その指標に基づき政策・事業を進めることが大切と考え

る。そのため、5年度に、市民の現状に対する満足度や将来の期待度などの主観指標を調査するアンケートを実施した上、結果の分析に基づいて政策を立案し、市民が幸福を実感できる基本計画としていく。

その他の質問

- ① ことも基本法の理念を踏まえ条例制定を
- ② 若者の転出減・転入増へ多様な施策を
- ③ 市民満足度の向上へ積極的な財政運営を

答弁 次期計画の策定に当たっては、市民が幸福を実感できるようなウェルビーイングの視点を取り入れることが重要であると考えてい

令和5年度版ウェルビーイング指標
全国調査結果（子育てカテゴリー）

子育て	全国	浜松市
客観指標総合	48.90	55.40
主観指標総合	48.52	47.14
子育て支援・補助が手厚い	48.36	44.60
子どもがたのしみいきと暮らせる	48.68	49.69

出典：一般社団法人スマートシティ・インスティテュートホームページ



市民クラブ
鈴木 真人

子どもの発達障がいに対し早期の支援を

質問 友愛のさと診療所と子どものこころの診療所の受診者が増える中、初診待機期間の現状と今後の対策は。

答弁 5年8月の平均初診待機期間は、友愛のさと診療所が3.6か月、子どものこころの診療所が2.3か月となっている。待機期間の短縮には医師、心理師などの専門職や診療スペースの拡充が必要となり、4年度は、両診療所に医師を1人ずつ増員した。また、5年度は、効率的な診療を可能とするため、子どものこころの診療所で、相談

その他の質問

- ① 若者の声を反映させる若者会議の設立を
- ② 水位観測箇所の増設で水位情報の提供を
- ③ 子育て支援ひろばでの一時預かり実施を

室2室の増設工事を7月に実施し、友愛のさと診療所には、診療室1室、言語・心理室1室の増設工事などを予定している。引き続き、初診待機期間の短縮に向け、関係機関と協議し、次の対策を検討していく。



増設した子どものこころの診療所相談室



公明党
松下 正行

佐鳴湖公園の再整備に向けた検討状況は

質問 佐鳴湖公園は、利用者が多い市内有数の公園だが、駐車場不足や未舗装园路などの課題があり、今後は再整備に向け計画的に取り組んでいく必要があると考えるがどうか。

答弁 佐鳴湖公園は、健康志向や自然志向の多くの市民が利用する公園としてニーズが高い。そのため、4年度からランニングステーションを含めた拠点施設の整備について、民間団体や有識者を交えた検討会を開催したところ、展示や学習など複合的な施設が必要と

その他の質問

- ① 子どもの権利を盛り込んだ新条例検討を
- ② 光ファイバ網未整備地域解消の取組は
- ③ 本市公園緑地へ公設ドッグランの設置を

の結論に至った。また、園路や駐車場など既存施設に対する課題も挙げられたため、5年度は検討結果や現状の課題、官民連携の可能性などを整理し、6年度から公園再整備計画の策定に取り組むことを検討している。



今後の再整備が期待される佐鳴湖公園

代表質問



創造浜松
遠山 将吾

地域で子どもを支える
仕組みの強化を

質問 子ども食堂や学

習支援など、ここ数年で本市の子どもの居場所は、大幅に増加した。今後、主任児童委員や居場所づくりに関わる人との連携強化により支援体制も強化され、子どもたちの未来に新しい道が提案できる可能性もあると考えることから、双方の関係者への講習会などを実施する考えはないか。

答弁 地域の支援者が

行政や民間団体などの支援情報について理解を深め、子どもの相談に応じ適切な助言や提案ができれば、子ども



子ども食堂で外国人留学生と交流する子どもたち

の将来の夢や選択肢が広がる可能性がある。今後は、主任児童委員や子どもの居場所づくりを行う運営者などが、利用する子どもにも応じ必要な情報を届け、円滑な支援につながるよう、講習会などの開催を検討していく。

その他の質問

- ① 部活動の地域移行の現状と進捗は
- ② 災害に対するソフト対策の強化を
- ③ マイナンバーカード活用の方向性は

一般質問



渥美 誠
自由民主党浜松

被害情報を一元管理する
専門チームの設置を

質問 4年9月及び5

年6月の豪雨では、土砂やがれきなど様々な障害物が発生した。被災者への応急対応を早急に行うため、被害情報を一元的に管理し対応する専門チームを設置する考えはないか。

答弁 道路や河川など

の障害物の除去については県などと連携して対応したが、国や県・市の制度に明確に当てはまらない案件は、対応部署の特定が難しいという課題があった。このため、被害情報を一元的に管理し、内容を精査する中で、的

確に対応する組織が必要と考え、災害対策本部内に関係部署で構成する専門チームを設ける方向で現在調整を進めている。引き続き、災害の発生に備え、速やかな応急対策や被災者に寄り添った支援に努めていく。

その他の質問

- ① 天竜美林価値創出に向けた新たな取組は
- ② 増加する使用済み紙おむつの再資源化を
- ③ 二俣及び鳥羽山の城跡価値の方向性は



2009年に実施した二俣城(一夜城)復元



北島 定
日本共産党浜松市議団

激甚化する水災害に対し
現行計画の見直しを

質問 台風第15号で目

の当たりにしたように、年々厳しさを増している浸水被害に対応していくためには、浜松市総合雨水対策計画を見直す必要があると考えらるかどうか。

答弁 4年9月23日の

台風第15号では、市内で1942棟の家屋が浸水するなど、甚大な被害が発生した。この被害を受け、2年に策定した浜松市総合雨水対策計画の見直しを進めており、重点対策エリアについては、目標設定から見直すこととしている。

また、市内の主要河川の整備を担う県はもとより、農地、下水道をはじめとする庁内の関係部署とも連携し、より具体的に効果的な対策メニューを組合せ、着実に実行していくことで浸水被害の軽減を図っていく。

その他の質問

- ① 徳川家資料の展示収蔵は既存施設活用を
- ② 無駄な受水費削減で水道料金負担軽減を
- ③ 学童保育はまきたの活動実績への認識は



台風第15号で浸水被害があった安間川周辺

9月29日、10月2日には、9人の議員が質問を行いました



小野田 康弘
自由民主党浜松

課題を抱える遺族会活動に寄り添った支援を

質問 戦争の記憶が風化しつつある中、平和都市宣言をした本市の戦没戦災遺家族等援護事業に対する考えは。

答弁 戦後日本の平和と繁栄は、戦争による尊い犠牲の上に築かれている。国外ではウクライナ侵攻などで多くの市民が犠牲になる中、改めて平和の尊さを認識するとともに、戦争の悲惨さを戦後世代に語り継ぐことが重要であると考えている。

しかしながら、戦後78年が経過し、戦争体験者が減少するとともに、語り部活動を担ってきた遺族会会員も高齢化し、活動が縮小していると聞いている。戦争を知らない世代や未来を担う子どもたちに戦争の惨禍や平和の尊さを伝承していくため、今後も遺族会活動が継続できるような支援をしていく。



浜名湖花博2024 フラワーパーク会場
開催期間：3月23日～6月16日

- その他の質問**
- ① 市運用のヘルスケアアプリに機能追加を
 - ② 花博来訪者に対し観光周遊を促す取組を
 - ③ 花博を契機に台北市と活発な交流事業を



藤田 典良
自由民主党浜松

養護教諭複数配置で子どもに寄り添う支援を

質問 子どもの健康に関する課題が多様化・複雑化していることから、養護教諭の複数配置が必要と思うが現状と今後の考えはどうか。

答弁 養護教諭の複数配置校は、本市独自の取組である養護教諭補助員、再任用の養護教諭配置により38校となる。今後、児童・生徒数の減少に伴い、国基準による複数配置校の減少が見込まれるものの、心身の健康面に関し、アレルギー対応や保健室登校、感染症対策など、全体・個人への支援・指導の必要性

が高まり、養護教諭の役割はますます重要になると考えている。こうしたことから、複数配置の基準引下げを引き続き国に要望し、本市独自の養護教諭補助員などの拡充で、さらなる複数配置の推進に努めていく。



7年度開催予定のガラス絵展(仮)展示予定作品の修繕

- その他の質問**
- ① 堀留川流域での浸水被害の現状と対策は
 - ② S・C配置時間の確保で相談体制充実を
 - ③ 美術館の館蔵品保存方法と修繕計画は



小泉 翠
自由民主党浜松

不登校児童・生徒に安心できる居場所を

質問 少子化の影響で児童・生徒数が減少する一方、不登校児童・生徒数は年々増加しているが、まなびの教室などのフリースクールなどに通う児童・生徒の状況をどのように把握しているか。また、こうした民間施設との連携に向け、今後の取組はどうか。

答弁 フリースクールなどの民間施設を利用してはいる児童・生徒の状況は、毎年在籍する小中学校に調査を実施しているが、5年度は教育委員会事務局の職員が利用施設を訪問し、

子どもたちへの支援状況を把握する取組を予定している。今後は、訪問により得られた各施設の情報をも踏まえ、民間施設との連携方法や、利用する児童・生徒及び保護者に対する支援の在り方を検討していく。



炎天下で高温になるおそれのある公園遊具の例

- その他の質問**
- ① 大雨時に緊急避難場所がない地域対応は
 - ② 児童養護施設の子へ習い事費用の支援を
 - ③ 公園遊具の塗料に熱交換塗料の使用を



大城 七瀬
市民クラブ

学校の生理用品について踏み込んだ支援を

質問 小・中学校において、生理用品を身近なものとして捉え、生理への理解を高めていけるよう、もう一歩踏み込んだ支援が必要と考えるがどうか。

答弁 学校では、緊急を要する場合に備え、保健室に生理用品だけでなく下着も配備している。保健室での支援は、直接手渡しできることから健康状態や心理面の把握、必要に応じた保健指導が行えるなどのメリットがある。5年8月の実態調査では全学校が保健室に生理用品を設置し、多く



5年2月19日に開催され4327人が参加した第19回浜松シティマラソン

- その他の質問**
- ① 校外まなびの教室で送迎モデルの実施を
 - ② 県営野球場でスポーツまちづくりを
 - ③ シティマラソンを応援者も楽しむ大会に

の学校でそのことを児童・生徒に周知していることも分かった。教育委員会でも児童・生徒への適切な支援とよき細やかな指導の両立は重要と考え、今後とも個々の健康状態や生活事情に配慮しながら支援を継続していく。



平野 岳子
自由民主党浜松

市職員を育成し自由な発想を政策立案に

質問 職員定数が年々削減される中、地方創生を促進するための政策立案には新たな発想の転換が求められるが、本市の取組はどうか。

答弁 政策形成能力は、職員が必ず身につけるべき能力であることから、入庁5年目までの集中育成期間に様々な研修を行い、人材育成を図っている。その能力を高めるためには、研修で学んだ内容を実践し経験を積み重ねることに加え、職員の意識改革促進のため、勤務時間の一部に他業務へ従事する仕組みを整

えるといった組織風土の醸成が必要と考える。このため、集中育成期間を終えた若手職員が所属の枠を超えて、新規プロジェクトなどに加わることで取組から始め、新たな発想で政策立案のできる職員を育成していく。

- その他の質問**
- ① 就労を望む重度障害者へ格別な支援を
 - ② 自治会への行政連絡文書のデジタル化は
 - ③ 五反田川エリアに効果的な水害対策を



台風第15号により越水した五反田川



高林 修
自由民主党浜松

高校生の通学時ヘルメット着用条例制定を

質問 県条例で、高校生は自転車通学時のヘルメット着用が努力義務とされているが、多くの高校生がかぶっていない。本市独自で着用を義務づける条例を制定することは可能か。

答弁 本市独自で高校生の自転車通学時のヘルメット着用を義務づける条例を制定することは、上位法令の趣旨や目的に反しないものであれば可能であるが、必要性や正当性を根拠づける立法事実の把握と整理は必要不可欠なものであり、慎重に検討する必要がある。

自転車利用の多い高校生に対しては、今後も警察や交通安全協会などと連携し、交通安全教室の開催やモデル校と連携した街頭啓発を実施するなど、交通安全教育と普及啓発活動をより一層充実させていく。

- その他の質問**
- ① 法人事業税超過課税の交付金対象拡充を
 - ② 2024年問題に対する本市の考えは
 - ③ 新たな区協議会への移行に一層の理解を



自転車通学する高校生



太田 利実保
創造浜松

第3次中山間地域振興計画の策定方針は

質問 現在策定を進めている第3次中山間地域振興計画における地域住民の意見聴取の状況と他部局との連携は

答弁 中山間地域住民の生の声を把握し、次期計画に反映させるため、自治会や高校生など幅広い住民が参加する座談会を開催し、集落の現状や今後に望むことなどの意見を聴いている。座談会では、生活環境がよくなったとの声を受けており、これまでの振興計画の下、様々な施策を推進してきた成果の一つだと捉えている。



野菜の摂取状況を数値化できる皮膚カロテノイド測定

その一方、生活に密接した公共交通の充実などを期待する声もあり、様々な声を施策に反映していくことができるよう、計画策定の過程で各担当部局と情報を共有し、効果的な事業の組立てにつなげるよう取り組んでいく。

その他の質問

- ① 環境負荷低減に向けた有機農業の推進を
- ② 空家対策が期待できる支援法人の活用を
- ③ 食育推進計画で働く世代への施策は

用語解説

※1
ブラッドパッチ療法（2ページ）

脳脊髄液漏出症（交通事故やスポーツ外傷などで硬膜から髄液が漏れ出すことにより頭痛や頸部痛、めまいなどの様々な症状が生じるとされている疾病）に有効とされ、漏出部位の脊椎硬膜外腔に患者本人の静脈血を注入し、血液が糊状にくっついて凝固することによって漏れを塞ぐ治療法。

※2
SC（スクールカウンセラー）（9ページ）

学校に配置されている心理の専門家で、児童・生徒へのカウンセリングや保護者への子育て等の助言を行うほか、心理分野における授業や研修会の講師など、学校の教育相談活動に大きな役割を果たしている。

※3
2024年問題（10ページ）

働き方改革関連法によって2024年4月以降、自動車運転業務の時間外労働の上限（休日を除く年960時間）が課されることで発生する問題の総称。特に他の業態よりも労働時間が長いとされるトラック事業は、1日に運ぶことができる荷物の量が減ることから、事業者の売上げ・利益の減少、ドライバーの収入の減少、これらに伴う担い手不足などが懸念されている。

※4
支援法人（空家等管理活用支援法人）（11ページ）

地方自治体がNPO法人や一般社団法人などに対して指定でき、空家関連情報の提供や相談、管理、活用のための援助などを行うことが可能となる。

資産等報告書を公開しています

「政治倫理の確立のための浜松市議会議員の資産等の公開に関する条例」に基づき、5年4月9日の選挙で当選した議員の「資産等報告書」を、市役所の市政情報室や各区役所の市政情報コーナーで公開しています。

この報告書は、議員の任期開始日（5月1日）において議員本人が所有する資産を記載したもので、任期4年の資産動向の基礎となるものです。

報酬などの所得等報告や、報酬を得て会社その他の法人の役員、顧問その他の職に就いている場合の関連会社報告については、任期開始後から5年12月末までに新たに所有することになった資産の補充と併わせて、6年6月に公開します。

詳細は、議会総務課までお問合せください。
☎053-457-2505

発行／浜松市議会〒430-8652 浜松市中区元城町103番地の2
編集／浜松市議会事務局
印刷／株式会社アプライズ



浜松市議会では、インターネットによる本会議・委員会のライブ中継と録画配信を行っています。このほか、市議会ホームページでは会議録（本会議・委員会）なども掲載しています。ぜひ御覧ください。



不矩のインド作品には、ある特徴が見られる。それは鑑賞者を「作品世界に誘う仕掛け」である。また、それを補佐しているのが「通路、扉、窓等の入り口」と「動物」である。

「村落(カジュラホ)」においても、不矩の視線は目立つ大通りではなく、人々の生活や息遣いが感じられる狭い路地に向けられ、人が描かれずとも人の気配や生活感を感じられる場所を選んでいる。つまり、不矩は、物見遊山的にインドを見つめていたのではなく、身を寄り添うようにして尊敬と温かな眼差しをもってインドの自然やインドの文化を見つめていたことが作品から分かる。画面奥の黒羊は、鑑賞者自身がその奥へ思考を巡らせられるようにする不矩の分身でもある。

紙上美術館
No.184



秋野不矩美術館ホームページ
開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）



再生紙を使用しています



不要になれば、雑がみとしてリサイクル

2024(令和6)年1月1日、
浜松市の行政区が
7区から3区に変わります!



紙面に関するお問合せ
浜松市議会事務局 調査法制課
☎053-457-2513

今後の議会活動の予定
〔12月〕
5日 各常任委員会
6日 大型公共施設建設
特別委員会
12日 議会運営委員会
13日 本会議(採決・11月定例会閉会)